

## 家庭数配布

= 生徒指導だより =



めざす子ども像

他の違いやよさを認め合う子ども  
自分で考えて実行できる子

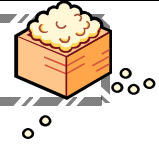
令和2年度  
2月号

R3.1.29

山口市立大内小学校



## その気持ちがあれば きっとできる



「心のこもったあいさつができるようになるためにはどうしたらいいのだろうか？」先日、高学年のある学級の子どもたちがそんな話し合いをしていました。新型コロナ禍でもできる、心のこもったあいさつとは…？その学級の児童は、自分たちで、自分たちの目線で、そして自分たちのこととして、真剣に意見を交わしていました。

毎日普通に登校できていると、ついつい子どもたちは、それが当たり前のことだと思ってしまうがちです。もちろん実際には、日々の安全な登校は、多くの方の努力と地域の子どもを思うあたたかい気持ちによって支えられています。そんなことに気づけたとき、子どもたちの心の中に「毎日お世話になっている人に気持ちのいいあいさつをしよう」「心のこもったあいさつをすることによって感謝を伝えよう」といった気持ちが自然に湧いてくるはずです。それはきっと、上記のような話し合いを行って行く中で子どもたちにたどり着かせたい“ゴール”につながっていくと思います。

「あなたが毎日、安全に学校に行けるのは、決して当たり前のことじゃないよ。」

保護者の皆様からも、お子様にそんな言葉をかけていただけたらと思います。



雪の日も最後のひと班まで見守ってくださっています。

## 新しい登校班がスタートします！

2月3日（水）に「地区児童会」の実施を予定しています。この会では、1年間の集団登下校の様子について話し合い、よかった点や課題について意見を出し合います。その後、来年度の新登校班のメンバーや並び方等について全員で確認をしますが、話し合いの中で出た意見をもとに、新登校班でも仲よく安全に集団登下校ができるように、しっかりと準備をしてほしいと思っています。

地区児童会終了後、新しい班で「地区別一斉下校」を行います。そして翌4日（木）の朝から、新しい班での集団登校がスタートします。6年生については、下級生にアドバイスをするという立場で、卒業式の前日まで、登校班と一緒に登校してもらいます。1～5年生の子どもたちは、その間に安全な歩き方を学ぶとともに、お世話になった6年生にしっかりと感謝の気持ちを伝えてほしいと思います。

また、2月8日（月）に予定している「仮入学」の後にも、3～6年生の児童が、来年度入学する新1年生とともに、地区別一斉下校を行う予定にしております。メール等でもお知らせいたしましたが、この2回の一斉下校は、新登校班に移行するための大切な練習の機会となります。当日、できるだけお子様が参加できるようにご配慮をよろしくお願いいたします。

## 2月の目標「みんななかよくしよう」



新型コロナウイルスの感染を防ぐために、今はできるだけ「密」を避けなければいけない状況ですが、本来子どもたちは、友だちとのかかわり合い、ふれ合いの中で成長していくものです。「社会的距離」は保っても、心の距離は決して遠ざけないように…今こそ、友だちを思う気持ちを大切にしていきたいと思っています。